

令和4年度事業報告

◎法人本部

◎生活介護事業所こころの結

◎共同生活援助事業所こころの結

◎日中一時支援事業

◎特定相談支援事業所/障害児相談支援事業所こころの結

社会福祉法人結の会

1 社会福祉法人結の会の事業運営

社会福祉法人結の会定款に基づき、個人の尊厳を保持し、地域における自立した日常生活を営むことができるよう、創作的活動や生産活動の機会を提供したり、身体的機能や生活能力の向上のために必要な総合的支援に努めました。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制する観点から施設行事（グループ外出、音楽療法、書道等）は中止とし、感染防止対策として、施設内・公用車の消毒、利用者のマスク着用・手指の消毒の徹底、保護者及び関係機関への周知・協力依頼を行いました。

本会においては、利用者及び職員に新型コロナウイルスワクチン接種を実施し、職員全員に定期的に社会的検査（PCR検査）を行いながら、施設内消毒、利用者及び職員の健康管理を行いました。

(1) 理事会の開催

① 第1回：令和4年5月30日（議決の省略）

- ・社会福祉法人結の会 令和3年度補正予算書（案）について
- ・社会福祉法人結の会 令和3年度事業報告(案)の承認について
- ・社会福祉法人結の会 令和3年度決算計算書類(案)及び付属明細書(案)並びに財産目録(案)の承認について
- ・社会福祉法人結の会 個人情報保護規程の一部改正（案）について
- ・社会福祉法人結の会 監事候補者（案）の推薦について
- ・社会福祉法人結の会 定時評議員会の提出議案について

② 第2回：令和5年1月23日（議決の省略）

- ・社会福祉法人結の会令和4年度補正予算書（案）について

③ 第3回：令和5年3月13日

- ・社会福祉法人結の会 役員及び評議員等の報酬等並びに費用弁償に関する規程（案）について
- ・社会福祉法人結の会 令和5年度 事業計画(案)について
- ・社会福祉法人結の会 令和5年度 資金収支予算書(案)について
- ・社会福祉法人結の会 第3回評議員会提出議案について

(2) 評議員会の開催

① 第1回：令和4年6月21日（議決の省略）

- ・社会福祉法人結の会 令和3年度事業報告(案)の承認について
- ・社会福祉法人結の会 令和3年度決算計算書類(案)及び付属明細書(案)並びに財産目録(案)の承認について
- ・社会福祉法人結の会 監事の選任（案）について

② 第2回：令和5年2月10日（議決の省略）

- ・社会福祉法人結の会 令和4年度 補正予算書(案)について

③ 第3回：令和5年3月27日

- ・社会福祉法人結の会 令和5年度 事業計画(案)について
- ・社会福祉法人結の会 令和5年度 資金収支予算書(案)について

(3) 監事会の開催

第1回：令和4年5月17日

- ・社会福祉法人結の会 令和3年度事業報告
- ・社会福祉法人結の会 令和3年度決算計算書類及び付属明細書並びに財産目録等の監査

(4) 第2種社会福祉事業の実施

- ① 生活介護事業所 こころの結の運営
- ② 共同生活援助事業所 こころの結の運営
- ③ 日中一時支援事業の運営
- ④ 特定相談支援事業所 こころの結の運営
- ⑤ 障害児相談支援事業所 こころの結の運営

2 生活介護事業所こころの結

今年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大抑制を図る観点から施設内・車輛等の消毒、利用者の手指の消毒・バイタルチェックを徹底し、利用者の安全衛生に努めるとともに、家族・関係機関等への周知徹底を図りました。

管理運営規程に基づき、日課や週計画、年間計画を積極的且つ計画的に遂行し、利用者の地域における自立した生活に向けての快適な環境・安全衛生の確保に配慮し、軽作業やグループ活動・レクリエーション等に積極的に取り組みました。

より適切な支援を行なうために、利用者全員の個別支援計画を作成し、保護者に説明し、利用者の現状の理解・協力を促しました。

軽作業では、農耕や委託作業（ハンガー・金具 等）を行い、各自作業を分担しながら取り組みました。

レクリエーション活動では、ソーシャルディスタンスをとり、新型コロナウイルス感染症予防対策を図りながら、年間計画に基づいて実施しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、ほとんどの行事を実施することができなかつたため、移動販売車（ピザ等）による会食、室内レクリエーション（ボーリング等）をして、楽しめる場面を設定し実施しました。

利用者の会は、毎月実施し、行事の計画や反省等、様々な話し合いを行いました。利用者からの意見を行事等に反映していくよう心掛けました。

給食会議では、調理師にも参画いただき、好みのメニューや選択メニューについての意見交換をして、楽しく食事ができる場づくりに取り組みました。

また、毎日2回、バイタルチェック（検温・血圧測定等）を行い、月初めには、身体測定（体重測定等）を行なうことにより、利用者の健康状態の把握に努めるとともに、家庭への連絡・調整を密にし、嘱託医による利用者の新型コロナウイルス感染症予防接種も行いました。

特に、感染症予防対策として、外出時・食事前の手指の消毒、公用車の消毒等を徹底強化しました。

(1) 利用者の状況 (R4.4.1～R5.3.31)

(単位：人)

区分/月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
利用者	男	26	26	26	26	25	24	24	24	24	24	24	24
	女	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
合計		39	39	39	39	38	37	37	37	37	37	37	37

(2) 障害支援区分別利用者数 (R4.4.1～R5.3.31)

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	700	672	772	629	584	605	665	669	600	590	628	708
(区分4)	141	142	167	137	124	129	129	126	122	109	122	141
(区分5)	417	400	459	373	337	350	396	398	344	345	371	417
(区分6)	142	130	146	119	123	126	140	145	134	136	135	150
月平均	35	35	35	31	29	30	33	33	31	31	33	32
稼働日数	20日	19日	22日	20日	20日	20日	20日	20日	19日	19日	19日	22日

(3) 利用者の年齢 (平均年齢 : 33.3 歳) (令和 5 年 3 月 31 現在) (単位:人)

年齢	男子	女子	計
15～19 歳	2	1	3
20～29 歳	10	2	12
30～39 歳	11	4	15
40～49 歳	1	2	3
50～59 歳	0	3	3
60 歳以上	0	1	1
計	24	13	37

(4) 通所の方法 (令和 5 年 3 月 31 日現在) (単位:人)

区分	送迎車	電車・バス	自転車	徒歩 ※	自家用車	計
男子	19	0	0	3	2	24
女子	6	0	0	5	2	13
計	25	0	0	8	4	37

※グループホーム利用者も含む

(5) 障害支援区分 (令和 5 年 3 月 31 日現在) (単位:人)

区分	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男子	0	0	2	18	4	24
女子	0	0	5	4	4	13
計	0	0	7	22	8	37

(6) 生活の支援

担当制を設けて、担当職員による利用者に対する個別相談や日常生活支援を家庭との連携を持ちながら支援しました。グループ活動や利用者の会等の活動を通じて自主性や協調性を培い、各種の行事を通じて集団生活のルールなどを学び、社会適応能力を高めるよう対応しました。

① グループ活動

<創作グループ>

陶 芸	参加者を募り、ソーシャルディスタンスをとり、楽しく陶芸づくりに取り組みました。製作した作品は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、地域の作品展示コーナーに出品できなかったため、関係施設の協力により他施設の作品展示コーナーで販売することができました。
書 道	ボランティアの協力(4月・7月・12月)により、利用者全員で書道に取り組む予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、実施することができませんでした。
絵 画 ぬり絵	声かけ等により、興味関心のある人は、絵をかいたり、ぬり絵をしたりして楽しめました。 できた作品を利用者、職員に見せたりして、交流を深めることができました。今後は、できた作品を地域の作品展等に出品し、地域との交流を図っていききたい。
カラオケ	利用者が楽しみにしているカラオケは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、今年度も中止とし、ビデオ(アニメ等)鑑賞をしました。

環境整備	季節の良い時期には、ソーシャルディスタンスをとり、定期的に施設内の除草作業を行い、施設周辺をきれいにすることができました。
掲示物の作製・展示	利用者の活動状況の写真等を施設内の掲示板に掲示し周知しました。利用者は、自分たちの写真を見て会話が弾み、利用者間の交流を場となってきています。

<スポーツクラブ>

ソフトボール	ふれあいソフトボール大会が、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、中止となりました。 雨天時は、フライングディスク、トランポリン等をして、楽しみました。
カラオケ	利用者が楽しみにしているカラオケは、新型コロナウイルス感染症の拡大により、昨年度に引続き今年度も中止としました。

② 利用者の会活動

毎月第4木曜日に行い、利用者の意見などを出す場として、また、さまざまな係を決めたり行事の計画や反省などを話し合う場として行うようにしました。利用者の自主性を尊重し援助を行うようにしました。利用者からは活発な意見がでてくるようになってきました。

③ 実修行事

今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、グループ外出、日帰り旅行、こころの結の祭り、初詣等の恒例行事は、全て中止としましたが、クリスマス会は、保護者会、企業の協賛により、菓子釣りゲーム、ボウリングゲームなどをして楽しむことができました。

また、県内行事（ふれあいソフトボール大会、音楽を楽しむ会等）も全て中止となったため、施設内で、ソーシャルディスタンスをとり、トランポリンやフライングディスクをしたり、ぬり絵やエコバッグづくりをして、楽しいひとときを過ごしました。

(7) 作業内容

① 焼菓子・パン販売（パンの製造・販売作業）

今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、パンの製造、販売は休止としていましたが、令和4年10月より焼菓子・パン販売を再開し、利用者の保護者、職員及び関係施設等で販売しました。

② 金具作業（金具の組み合わせ、ネジ分け（2本）、袋入れ、ホッチキス留め等の作業）

ひとり一人の作業能力に応じて、ソーシャルディスタンスをとり、単工程、全工程を各自できることに取り組みました。

準備から作業、片付けまでの行程をできる人が、増えてきました。

納品は、利用者も数名同行し、その人に応じた方法で携わってもらいました。

③ 洗濯用具組立て・梱包作業（洗濯用ピンチ・ハンガー等の組立て・梱包作業）

作業によっては限られた人しか取り組めないこともあるが、ピンチ類の時は組み合わせ、フック付けや台紙に挟み込む工程や完成品の数を取る等の多くの人が取り組むことができました。10連ハンガーの発注が多くなり、材料や完成品でかなりスペースが必要となり、足元も危険な為、整理と工程バランスを考え、利用者が怪我をしないよう配慮に努めました。

④ 梱包作業（白い小箱等の梱包作業）

利用者が取り組みやすい作業であるため、みんなで協力して取り組むことができました。
荷下ろし・積み込みは、利用者が数名同行し作業をすることができました。

⑤ リサイクル分別（ペットボトル、アルミ缶、古紙、段ボール等の分別）・エコバッグづくり

保護者や職員、関係機関より、リサイクル物品の協力を得て、定期的に、数名の利用者が販売店の分別機で分別作業を行ったり、新聞紙を利用してエコバッグを作って、地域の商店等に設置してもらい、徐々に定着化し、地域の皆さんに喜ばれています。

利用者の気分転換にも繋がり、リサイクルポイントで菓子等に替え利用者のおやつとして使用させていただき、利用者のやる気、楽しみになってきています。

⑥ CD分別作業（CDと包装紙等の分別作業）

令和2年2月より、新規作業として取り組みました。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、作業依頼がなく、今年度は作業することができませんでした。

(8) 健康管理及び保健衛生

毎月1日に体重測定を実施しました。看護師・生活支援員によるバイタルチェックを毎日行い、健康管理に努めました。また、昼食後には自発的に歯磨きをするように促し、毎日の習慣になるよう支援しました。

毎日のウォーキング後や作業終了時は手洗い・うがいを行い、風邪等の予防に努めました。

また、利用者の定期健康診断は、マスク着用のうえ、ソーシャルディスタンスをとり実施しました。

嘱託医は、年4回来所し利用者の様子を見てもらい、利用者の健康チェックを行いました。

また、利用者で新型コロナウイルス感染症予防接種希望者及び職員は、施設内において、嘱託医の協力により実施しました。

<（県社会的検査）PCR検査の実施>

定期的に職員のPCR検査を実施し、新型コロナウイルス感染症拡大予防に努めました。

<インフルエンザ予防接種の実施>

インフルエンザ予防接種希望者（利用者及び職員）は、施設内において、嘱託医の協力により実施しました。

(9) 地域社会・関係機関との連携

① 地域交流イベント等への参加

地域で行われる交流イベント（祭り、作品展示等）は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ほとんど中止となったため、地域住民等との交流を深めることが難しかった。

② 実習生の受入れ

- ・社会福祉援助技術現場実習：令和4年8月22日～9月15日（18日間）短大生2名
 - ・社会福祉援助技術現場実習Ⅰ：令和5年2月13日～2月22日（8日間）短大生2名
 - ・保育実習：令和4年5月30日～6月10日（10日間）短大生1名
- ※社会福祉援助技術現場実習（4名）と保育士現場実習（1名）を受入れました。

③ 各特別支援学校高等部生徒の実習受入れ

- ・施設現場実習：令和4年6月6日～6月17日特別支援学校高等部生徒：1名
- ・施設現場実習：令和4年6月6日～6月24日特別支援学校高等部生徒：1名
- ・施設現場実習：令和4年11月28日～12月8日特別支援学校高等部生徒：2名

(10) 各種会議の開催

施設内会議を下記のとおり定期的に行いました。

会 議	実施（曜）日	会 議	実施（曜）日
職員打ち合わせ会	毎・夕	給食会議	毎月/1回
支援会議	第1木曜日 17:30～	職員会議	第4木曜日 17:30～
個別支援会議	第3木曜日 17:30～	利用者の会	毎月/1回

(11) 防災・避難訓練の実施

避難訓練を年2回実施しました。訓練を重ねてきたこともあり、声掛けでスムーズに避難することができ、屋外に迅速に避難することができるようになってきました。

- ・令和4年7月20日（水）13:00～13:15 避難訓練（火災を想定）
- ・令和5年3月15日（水）13:15～13:30 避難訓練（火災を想定）

(12) 職員研修

三重県社会福祉協議会が主催する各種研修会や三重県知的障害者福祉協会、全日本自閉症支援者協会主催等の研修会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、リモート研修となりましたが、できる限り参加するようにしました。

また、施設内研修や相談支援従事者研修、強度障がい支援者養成研修を受講して、職員の資質向上を図りました。

実施日	研 修 会 名	場 所	参加者
(R4) 6/30～7/1	強度行動障害者支援者養成研修	総合文化センター	職員 1名
8/1～8/12	サービス管理責任者更新研修	オンライン講義	職員 1名
8/29	サービス管理責任者更新研修（演習）	三重県社会福祉会館	職員 1名
9/15～9/16	強度行動障害者支援者養成研修（基礎）	総合文化センター	職員 1名
9/29～9/30	強度行動障害者支援者養成研修（実践）	総合文化センター	職員 1名
10/7・11/2・ 3/1	三重県相談支援従事者現任研修（演習）	三重県庁 講堂	職員 2名
10/13	令和4年度社会福祉法人指導監査	社会福祉法人結の会	職員 2名
11/4	職場内研修（障害者虐待防止）	社会福祉法人結の会	職員全員
11/10・11	強度行動障害者支援者養成研修（基礎）	総合文化センター	職員 1名
11/17・18	強度行動障害者支援者養成研修（実践）	総合文化センター	職員 1名
2/9	三重県虐待防止権利擁護研修（市町）	三重県社会福祉会館	職員 1名
2/10	三重県虐待防止権利擁護研修（事業所）	和順学園	職員 1名
2/17	三重県虐待防止権利擁護研修（事業所）	三重県社会福祉会館	職員 1名
2/24	三重県虐待防止権利擁護研修（事業所）	三重県社会福祉会館	職員 1名
3/10	三重県虐待防止権利擁護研修（総括）	三重県社会福祉会館	職員 1名

(13) 行事等の開催

ほとんどの行事は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、中止となりましたが、毎月開催の誕生日会やクリスマス会、初詣等は、ソーシャルディスタンスをとり実施しました。

実施日	行事名	場所	参加者
(R4) 4/13	キッチンカー（唐揚げ・飲み物）による 買物・会食	こころの結	
12/14	キッチンカー（ピザ等）による 買物・会食	こころの結	利用者全員
12/21	クリスマス会	こころの結	利用者全員
(R5) 1/16～2/10	初詣（グループ別）	結城神社、護国神社等	利用者全員
3/8	キッチンカー（ピザ等）による 買物・会食	こころの結	利用者全員

5 特定相談支援事業所/障害児相談支援事業所こころの結

(1) 概況

利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して指定計画支援サービス等を行いました。

ソーシャルディスタンスをとり、電話相談、巡回相談（訪問）、外来相談も積極的に行い、利用者の立場に立った支援をしました。

(2) 契約者の状況

<障がい児>	契約者数
幼稚園・保育園	24名
特別支援学級（小・中学校）	27名
特別支援学校	20名
重症心身（在宅）	2名
入院	1名
合計	74名

<障がい者>	契約者数
入所（入院も含む）	8名
生活介護	44名
就労移行支援事業	0名
就労継続支援 A 型	5名
就労継続支援 B 型	6名
就労	2名
在宅	3名
合計	68名

(3) 計画相談支援

- ① サービス利用支援（計画作成） 144件
- ② 継続サービス利用支援（モニタリング） 87件

(4) 利用者の状況

142名の利用者さんの支援を行いました。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防に努めながら、訪問・面談・会議等を行いました。更新・モニタリング時の様子伺いは、電話で対応することがありました。また、訪問予定であっても濃厚接触者と連絡が入り、面談が遅れることがありました。

児童の相談が、昨年度よりも更に増え、保健センターからの紹介がほとんどでした。

サービスを利用する前の面談を丁寧に行いながら、家族に寄り添えるように心掛けました。

医的ケア児の新規登録もあり、関係機関との連携を密にしながら対応しました。

令和4年度の新規利用者は、障がい児：16名でした。

利用者の状況	利用者数
他県へ引越した人	0名
介護保険へ移行した人	0名
他の事業所に計画相談を移行した人	4名
サービス終了の人	2名
合計	6名